

2022.8
第92号

ひの長寿の友

滋賀県蒲生郡日野町河原1-1
日野町勤労福祉会館内
【発行】
日野町老人クラブ連合会
【責任者】
東川嘉一



就任あいさつ 期待される老人クラブをめざして

会長 東川嘉一

この度、第一回理事会において、会長職を預かることになりました。もとよりそのような器ではございませんが、精いっぱい努めさせていただきます。ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、今年度の日野町老人クラブ連合会（以下「日野町老ク連」）の総会は昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症防止のために書面決議とさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

また、各地区老人会におかれましては、この三年間、新型コロナウイルス感染症のため活動を自粛されているところが多くみられます。私たち老人会が最も大切にしている人とのつながりやふれあい、新しいコロナでスタスタにされています。これ以上、活動の中止が続けば、老人会の存在意義が問われますし、会員離れが加速します。

そこで他の市町の老人クラブでは、今後、新型コロナウイルスを理由に活動を中止することはやめよう、という意見が出ています。

日野町の老人会としても、新型コロナウイルスの感染防止に努めながらも、活動の再開を検討していくことが求められています。

ところで、昨年度末で東桜谷地区老人クラブ（三地区）が退会されました。仲間が去っていくことは寂しい限りですが、一地区が残ってくれました。

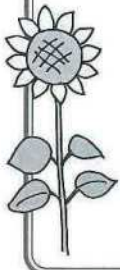
また、個人会員としての加入者も増えていることから、全体としての会員の減少は比較的少なく済み、ホッとしています。

こうした中、昨年十一月、シルバー大学の受講者に対して、日野町老ク連への要望や提言をアンケートで聞かせていただいたところ、「脱退は仲間の皆さんとの別れにつながります。高齢になる程、話し相手等、仲間が必要です。このことを強く説明してあげて下さい」と言った意見や、「脱退する地区等がありますが、その地区へもグループで加入し、続けられるよう呼びかけてあげて下さい」といったように、退会に心を痛め加入を期待している意見が多く見られました。

また、「・・・来年は旅行、グラウンドゴルフ、歴史探訪をお願いします」など、日野町老ク連の事業への期待もみられました。
私たち役員としましても、こうした会員みなさまの期待に応えられるよう努力を惜しみません。
どうか、引き続きご支援・ご協力をお願いします。

日野町老ク連役員

会長	東川嘉一
副会長	青木幹泰
理事	西村保子
理事	藤崎美代子
理事	青木幹泰
理事	對中芳喜
理事	竹村久子
理事	奥田慶二
理事	矢野佐代子
理事	橋本忍
理事	森継公子
理事	藤崎清三
理事	寺澤京子
事務局	西田三枝子



令和4年度事業計画

月別	事業計画内容
8	*長寿の友第92号発行(8月15日付)
9	*女性部施設訪問と研修(9月14日(水))
	*社会奉仕の日(9月18日(日)・予備日19日(月祝))
	*ゲートボール大会(9月29日(木))
10	*第1回シルバー大学・開校式(10月3日(月))
	*第2回シルバー大学(10月24日(月))
	*グラウンドゴルフ大会(10月26日(水) 予備日27日(木))
11	*シルバー大学現地研修(11月9日(水))
	*第3回シルバー大学(町文化祭共催)(11月19日(土))
	*第4回シルバー大学・閉校式(11月28日(月))
12	*健康づくり講習会(12月1日(木))
1	*長寿の友第93号発行(1月1日付)
年間	*親睦旅行(未定)
	・友愛活動・奉仕活動・介護予防活動・健康活動・防犯活動・交通安全活動・レクリエーション活動・世代間ふれあい交流・会員増強活動・サークル活動

令和三年度事業報告および収支決算、令和四年度事業計画案および収支予算案について、全議案ご承認いただき可決いたしました。昨年度はコロナ禍の中、親睦旅行等一部は中止となりましたが、ほとんどの事業が感染対策をしながら実施、多くの会員の皆さんにご参加いただき、交流を深めていただきました。

令和四年度日野町老人クラブ連合会総会は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、今年度も各単位クラブ会長様の書面決議で行なわれました。

令和四年度総会も書面決議で承認
各種事業に多数ご参加ください

また、長年老人クラブの活動に貢献のあった優良会員の皆様には表彰状と記念品を、前年度役員の皆様には感謝状と記念品をお届けいたしました。

老人クラブ連合会表彰

おめでとうございました
優良会員表彰

- 曾羽 貢 (南比都佐)
- 安井 恵美子 (南比都佐)
- 石岡 佳子 (必 佐)
- 東 喜代治 (必 佐)

シルバー大学のご案内

新型コロナウイルスの第七波が押し寄せてきています。事業計画については、状況をみながら理事会で協議し、感染予防対策をしっかりとし、取り組んでいく計画ですが、状況によっては、急きょ中止、変更する可能性もありますのでご了承くださいませようお願いいたします。

多数のご参加お待ちしております。

●第一回 十月三日(月) 開校式

講演 「新型コロナウイルス流行から何を学ぶか」
講師 家庭栄養研究会 顧問 山崎 万里さん

●第二回 十月二十四日(月)

講演 「近江・日野の聖徳太子伝承」
講師 元東近江市史編纂室長 山本 一博さん

演奏 聖徳太子一四〇〇年

テーマソング「天子の雫」
シュガーヒル コンサート

●第三回 十一月十九日(土)

日野町文化祭共催
「サンドアート」

サンドアートパフォーマー集団
シルト

●第四回 十一月二十八日(月) 閉校式

講演 「眠りの基礎知識 ぐっすり眠るためのヒミツを知ろう」
講師 日本睡眠科学研究所認定 スリープマスター 八木 ミキさん

時間と会場

十二時四十五分 受付
十三時三十分 開会

参加費

会員 無料
会員以外 一回五百円
(一・二・四回) 当日納付

■現地研修 十一月九日(水)

定員(会員限定) 三十名
「聖徳太子の伝承を訪ねて」
瓦屋禅寺(東近江市)・観音禅寺(竜王町)

参加費 三千元


【お問い合わせ】

事務局 五二一一二一九

高齢者の元気は地域の元気！
老人クラブへ参加しませんか？

- ・ひとりぼっちは淋しいもの
- ・声をかけ誘ってくれる
- ・情報を届けてくれる
- ・外出する機会が少なくなる

高齢期には仲間の存在は大きな安心です。
一緒に楽しく活動しましょう



地域のいきいきさん

元気の秘訣は 昼寝と寝る前のドリンク 曾孫に逢うのが楽しみ



◁瀬川東一さん(97歳)と曾孫の百花ちゃん

鎌掛六区に在住の瀬川東一さん(九十七歳)は、今も草刈機を使って人の刈らない県道沿いの草や家の近くの河川の草、そして、隣接した不在の屋敷内の草を刈っておられます。

若い頃行った軍隊で鍛えられた足腰には自信があったが、九十一歳で免許を返納してからは、足腰の衰えを感じて、運動の為に草刈りをしているだけと言われました。

私が詩吟を始めたのは、昭和五十二年で、きっかけは結婚式に吟じたいと思い習い始めました。

それから十八年経過し、六十歳を機に指導するようになり、多い時は三十五名習いに来てくださいました。現在はコロナの影響もあり少し減りましたが継続しております。会の組織は詩吟朗詠錦城会と申しますが、北海道から沖縄まで全国に広がっており、詩吟のおかげで友達もたくさん出来、全

詩吟は健康の源

今の楽しみは、曾孫達が来てくれる事と、月一回孫に乗せてもらって行く三重県の病院帰りに二人で食べるご飯だそうです。

おおじいさん(曾孫さんの呼び名)これからも元気でいてくださいな。(記 高尾喜代美)

元気の秘訣は、一時間程の昼寝と毎日寝る前に飲むドリンクだそうです。

今この楽しみは、曾孫達に来てくれる事と、月一回孫に乗せてもらって行く三重県の病院帰りに二人で食べるご飯だそうです。



△詩吟の指導をされる外池嘉瑞雄さん(86歳)

下駒月しあわせカフェ 地域のいきいきさんたち

金曜日の午後の二時間、「しあわせカフェ」に多い時には三十人もの方がやって来ます。六十八歳から九十歳まで男女を問わず集い、コーヒーとお菓子で気さくなおしゃべりタイム。和やかな時間を過ごされるようになって七年になるそうです。会費は百円。

腕に覚えのある会員中心に男性

国を旅行を兼ねて廻りました。

詩吟をしていると健康によいと言われています。会に入っておられる方は皆元気です。また、詩吟をしたいと思われる方は、是非お越しくださいようお願いいたします。

(記 内池西 外池 嘉瑞雄)

会員さんたちが、古い集会所を改装し、机、椅子、クローラーまで設置して「なごみハウス」を整備されました。

朝から花を飾り、お茶を用意して会を進めておられる中西登喜子さんは「がんばらないから続けられる。皆の協力があるからできる」と言われます。毎週するのは、日を間違えず、来たい時に、来たい人が集まれるから。閉じこもって鬱(うつ)になつたりすることのないように。とも。



△しあわせカフェのみなさんと、お世話されている中西登喜子さん(左)と谷たず子さん(右)

なごみハウスには、会員さんの作品(手芸・絵・写真等)がいっぱい飾られ、誕生日のお祝いもされるそうです。地域のいきいきさんの笑顔がいっぱいです。

(記 室田容子)

県老ク連 体育・健康づくりリーダー等講習会 — ニュースポーツ モルックを体験 —

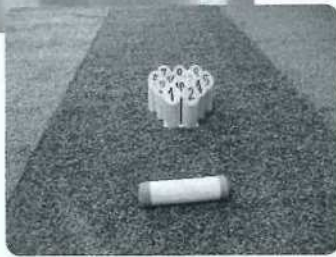
七月八日に滋賀県老人クラブ連合会主催の体育・健康づくりリーダー講習会が、県立長寿社会福祉センターで開催され、東川会長と青木副会長と二人で参加しました。

今回の講習内容はモルックというフィンランドの伝統的な遊びを元に生まれたスポーツです。一チーム四人から五人くらいで戦います。

モルック（投てき用の棒）を投げスキットルという棒を倒し、倒れた棒に数字が一から十二まで書

いてあり、その棒の倒れた方により点数を獲得し、先に五〇点ちょうどを目指すゲームです。

最初は約二時間もするのかと少し不安でした。やり始めると他所の方とも話をしながら、やる気が出て、少しのめり込んでしまいました。たくさんスキットルが倒れると「おー」と拍手をもらって楽しいスポーツでした。室内や室外でもでき、どなたでもできるスポーツです。日野町でも体験ができる機会を設けられたらと思います。
(健康部 矢野佐代子)



△フィンランド生まれのモルックを体験

編集後記

例年になく早い梅雨明け、酷暑そして、コロナ禍は、第七波がおし寄せており、厳しい夏を過ごすこととなりそうです。

この気候の所為か、植物たちは勢いをつけ、バトンタッチを急いでいるように感じます。あじさいを剪定した庭には、むくげや、カラーやききょうなど夏の花が、にぎやかに咲いています。次々と咲いてくる夏の花を楽しみながら早朝の草むしりや庭掃除に精を出してこの夏を乗り越えたいと思っています。どうか会員の皆様も、暑さにもコロナにも負けず、お元気に過ごしてくださいように。

編集にあたり、ご協力くださった皆様方に心より感謝いたします。
(室田 容子)

編集委員会

- 社会部長 橋本 忍
- // 副部長 森継 公子
- 委員長 室田 容子
- 委員 高尾 喜代美
- // 北西 明

ちょっとひといき

あ・た・ま・の・体・操

間違い探しに挑戦してみませんか？
上下の絵の中には、違うところが7か所あります。探してみましょう。テーマは「そうめん」



答えは次号でお知らせします。お楽しみに。